

4月11日(木)は尿検査です!



対象:全校生徒

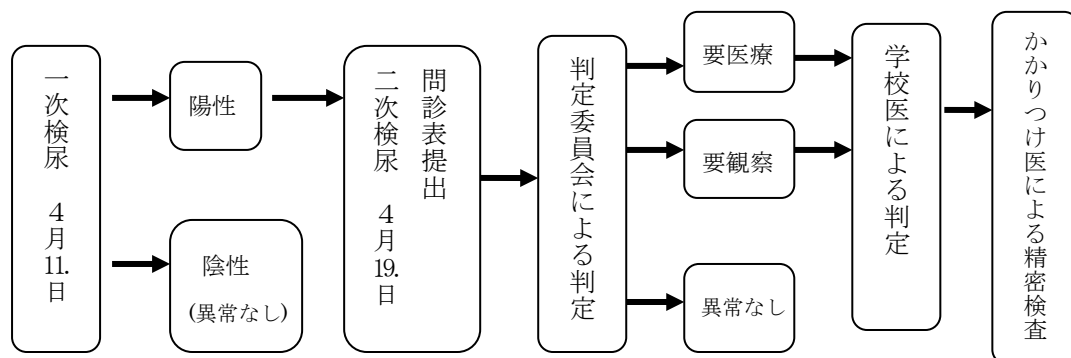
*女子で月経中の人は、4月19日(金)に提出してください。

腎臓病の半数以上は慢性に経過するため、自分では、自覚症状がなくて気がつかないうちに病気が進行してしまいます。そのため、学校で行われる検尿は腎疾患の早期発見の大きな役割を担っています。

腎臓病は、早期に発見すれば、適切な生活管理や治療により悪化を阻止することができます。岐阜県では、「岐阜県方式学校検尿システム」を実施しており、専門医による判定委員会の活用など精度の高い学校検尿に取り組んでいます。



★「岐阜県方式学校検尿システム」の主な流れ




★尿検査結果から、こんなことが分かります。

検査結果	検査から分かること
蛋白質 (+)	蛋白質は、通常尿には混じりません。腎臓の機能が低下すると体にとって必要な蛋白質が尿に混じるようになります。激しい運動後や緊張している時に蛋白質が尿に混じることがあります。
糖 (+)	血液中の糖の濃度が高くなると、腎臓で再吸収しきれなくなり尿に糖が漏れ出てきます。糖尿病、甲状腺機能亢進症、腎性糖尿などが疑われます。
潜血 (+)	尿の通り道のどこかからの出血が疑われます。尿路結石、膀胱炎、糸球体腎炎などで潜血がみられます。 女性では病気でなくても潜血がみられる率が高めです。(月経など)

尿検査注意事項



●検査前日までに・・・

1. 容器のふたの閉まり具合を確かめ、不都合があれば保健室で交換してもらう。
2. **検査容器のバーコードシールの情報が正しいかどうか確認する**（学校名、学年、組、性別、番号、氏名）。間違いがあれば、保健室へ伝える。
3. **検査容器のバーコードシールに記載されている6ケタの個人No.を尿検査袋へ記入する。**
個人No.が尿検査袋書かれていないと無効になり、再度採り直しになる場合があります。
4. 検査袋に、学校名（大垣西 )、学年、組、氏名等を記入する。



尿検査袋の<個人No.>の欄に、
配られた容器の個人No.（6ケタ）
や、クラス、氏名等を自分で記入
する！

●検査当日・・・

《採尿のしかた》

- ・朝起きた時の尿をとる。
- ・紙コップに尿をとり、採尿容器の真ん中辺りを押さえてスポイドの要領で尿をとる。容器の真ん中までは尿を入れてください。

《提出方法》

1. 4月11日（木）の朝登校したら、教室の回収袋に検尿を提出し、名票に○をつける。
遅くとも朝SHRが始まる前に提出すること。
2. 各クラスの保健委員が、1時間目開始前までに検尿と名票を保健室に持ってくる。

《その他注意事項》

1. 容器のバーコード部分は汚したり破損したりしないこと。
2. 4月11日（木）の提出日に月経中や提出忘れの人は、次回提出日の4月19日（金）に必ず提出してください。容器と袋は当日までなくさないように各自で保管しておくこと。
19日の提出方法は、11日と同じです。
3. 最終提出日に提出できない場合は、個人的に医療機関で検査をし、証明書を提出していただくこととなりますので、十分注意してください（医療機関での検査代及び文書料は自己負担です）。

